

令和7年

第8回仙北市議会定例会

市政報告

仙北市

令和7年第8回仙北市議会定例会 市政報告

令和7年第8回仙北市議会定例会の開会にあたり、主要事項についてご報告します。

はじめに、仙北市の人口動態についてです。

10月31日現在の人口は2万2,417人で前年同月比542人減、世帯数は1万203世帯で前年同月比82世帯減となっております。

今年度10月までの出生届出数^{しゅつじょうとどけですう}は33人となっています。前年同期の出生届出数は42人で、9人減という状況です。また、10月の転入は29人、転出は24人となっています。

引き続き子育て支援や若者関連施策の取組について、積極的な情報提供に努めます。

次に、行財政改革についてです。

令和8年度の「攻めの方針」として、「全産業における若年層の雇用促進」、「一人一人に寄り添った徹底した子育て支援」、「若者・女性が暮らしやすい、働きやすい地域・職場づくり」の3つの柱を掲げました。また、「守りの方針」として、「公共施設のスクラップアンドビルドの実施」、「DXを利活用した行政サービスのスピードアップ」、「中期財政計画を作成し、安定した財政へ」の3つの柱を定めています。

これらの方針に基づき、令和8年度に取り組むべき課題をまとめた部局経営方針シートの策定作業を進めております。

令和8年度の予算編成に際しては、既に実施した事務事業評価や施策評価、さらに、この経営方針シートに基づいて進めてまいります。

また、現行の総合計画が今年度で期間終了することに伴い、計画期間を次年度から4年間に限定した短期型総合計画の策定作業を進め

ております。

次に、一般会計補正予算（第12号及び第13号）についてです。

第12号の補正額は、1億1,967万7千円の追加で、補正後の額は283億9,447万1千円です。補正事業は、児童派遣費補助金、生徒派遣費補助金、職員給与費などです。

第13号の補正額は、8,835万円の追加で、補正後の額は284億8,282万1千円です。主な事業は、車輌維持管理費、市議会議員選挙費、保育所等おむつ無償化事業費、農業経営等復旧・継続支援対策事業費補助金、夢ある畜産経営ステップアップ支援事業費補助金、河川維持補修費、埋蔵文化財調査事業費などです。債務負担行為補正は追加及び変更です。

次に、令和8年度の財政見通しについてです。

国の令和8年度予算は、経済財政運営と改革の基本方針2025において、「今日より明日はよくなると実感できる社会」を目指し、「全世代型社会保障の構築」、「少子化対策及びこども・若者政策の推進」、「戦略的な社会資本整備の推進」、「持続可能な地方行財政基盤の強化」などに取り組むとともに、改革推進のための証拠に基づく政策立案（EBPM）を推進し、効果的・効率的な支出（ワイスペンドィング）を徹底することとしています。

また、総務省の令和8年度の概算要求では、経済・物価動向等を適切に反映し、地方の安定的な財政運営に必要となる一般財源総額は、実質的に令和7年度と同水準を確保するとされています。

本市の財政状況を見ると、国の経済は緩やかに回復しているといいうものの、歳入面では、物価高が地域経済に及ぼす影響や人口減少

により、增收を見込むことが難しい状況にあります。歳出面では、経営の悪化が進む病院事業会計への補助、高齢者人口割合の増加に伴う社会保障費や長期化する物価高騰、老朽化した施設への対応に伴う経常経費の増加など、厳しい財政運営となることが想定されます。

予算編成に当たっては、市税等各種収入金の収納率向上、遊休資産の処分、ふるさと納税寄附金の確保など、財源確保に全力を尽くすほか、効果的・効率的な支出に向けて、引き続き既存事業の廃止、統合、縮減などによる歳出抑制に取り組み、一定水準以上の財政調整基金残高を確保し、市が抱える人口減少や少子高齢化などの課題への対応と合わせ、将来に持続可能な仙北市の実現に努めます。

それでは、各部局等の主要事項及び諸般の状況を報告します。

【総務部】

◇タイのトップセールスについて

私が11月12日から14日まで、秋田県主催のタイトップセールスに参加しました。在タイ日本国大使公邸や日本政府観光局バンコク事務所、旅行代理店協会へ訪問し、13日に行われた観光誘客セミナーでは仙北市のPRや旅行会社など40社と具体的な商談を行いました。今後のタイ観光誘客の拡大につなげていきます。

◇公共施設開放について

市内においてクマの出没が相次いで確認されていることから、子どもたちが屋外で安心して遊ぶことができない状況が続いているため、市内の屋内公共施設12施設を11月15日から12月28日までの期間、曜日によって開放日が異なりますが、申請不要で無料開放しております。今後も子どもたちが安心して楽しく過ごすことができるよう環境整備に努めてまいります。

◇大雨災害への義援金について

8月20日に発生した上桧木内地区をはじめとする大雨被害への義援金の受付は、8月26日から行っており、11月26日現在で271件、1,313万681円と全国各地から多くのご支援をいただいております。

義援金の配分については、11月6日開催の「仙北市8月20日大雨災害義援金配分委員会」の決定事項により、第1次配分として、じゅうか住家ひがい被害を受けた世帯のうち、床上浸水17世帯、床下浸水18世帯、断水105世帯の計140世帯を対象に、887万8千円を配分します。

ご支援いただいた皆様に心から御礼を申し上げます。

【企画部】

◇ふるさと納税について

ポータルサイトでのポイント還元が禁止されることに伴う9月の駆け込み需要により、11月20日現在のふるさと納税の寄附額は、24億3,372万100円に達しており、昨年同日比で152.2%に増加しています。

10月以降の寄附額は昨年同期比で55.3%となっておりますが、これまで年末にかけて寄附額が増加する傾向が見られるため、年間トータルでの寄附額は昨年と同水準以上になることが予想されます。

今後もさらに多くの方々からご助力いただけるよう魅力ある返礼品の創出や情報発信に努めてまいります。

◇過疎地域持続的発展優良事例「全国過疎地域連盟会長賞」の受賞について

令和7年度過疎地域持続的発展優良事例表彰において、この度、本市の地域活動団体「がっここの学校 いぶりがっこ」が、全国過疎地域連盟会長賞を受賞しました。

この取り組みは、地域のママ友である西宮三春さん、村岡歩さん（にしみやみはる　むらおかあゆみ）の2人が、子どもに安心して食べさせられるいぶりがっこを作ろうと始めたもので、いぶりがっここの魅力を伝えるだけでなく、地域の人々をつなぎ、交流人口を増やすなど、過疎地域に新たな風を吹き込む取り組みとして高く評価されました。

地道に地域の文化を守り、笑顔で人と人をつなぐ活動が、こうして全国的に認められたことは、市民の皆さんにとっても大きな誇りであります。

今後も本市として、このような地域主体の創意あふれる活動がさらに広がるよう、支援を続けてまいります。

◇秋田新幹線新仙岩トンネル整備促進期成同盟会要望活動について

11月19日、今年度2回目となる要望活動として、会長の老松博行（おいまつひろゆき）大仙市長、武田哲（たけださとる）滝沢市長、猿子恵久（さるこしげひさ）零石町長ほか関係者とともに、国土交通省、財務省のほか、関係する国會議員等へ要望を行いました。

引き続き、新仙岩トンネル整備の早期実現に向けては、「秋田新幹線新仙岩トンネル整備促進期成同盟会」、また期成同盟会と「秋田新幹線と沿線地域の持続的発展プロジェクト」に関する連携協定を締結している秋田県、JR 東日本秋田支社とともに、しっかりと取り組んでまいります。

◇おしごと体験キッズマルシェについて

11月23日、角館交流センターを会場に、おしごと体験キッズマルシェが市内在住の女性たちを中心とした実行委員会の主催で開催されました。

一昨年度から始まったこのイベントは、この地域にはどのような仕事がある、どのような人が活躍しているのか、実際に仕事を体験しながら

ら「仕事って楽しい！」の気持ちを、市内の子どもたちに育もうという主旨で行われているものです。

当初21団体が体験ブースを設け、さまざまな仕事を子どもたちに体験していただく予定でしたが、この時期、市内各所でクマの出現が多発したことから、屋外のブースを中心に4団体が取りやめとなりました。

そのような状況ではありましたが、癒しブースやキッチンカーなども併せて展開し、親子連れなど約500人の市民などが参加しました。

また、運営に対しても角館高校の生徒15人を含む市民ボランティア19人が関わったほか、市職員も駐車場誘導やクマ対策として関わっての開催となりました。

◇仙北市空き家等対策協議会について

11月25日、令和7年10月1日付けて改正施行となった「仙北市空き家等の適正管理に関する条例」に基づき、仙北市空き家等対策協議会を開催しました。

従前の仙北市空き家等審議会に代わるもので、新たに私も委員となり協議会長となったほか、今般の条例改正に倣い、現行の仙北市空き家等対策計画の一部改正などを議論しました。

引き続き、各分野で専門知識をもった委員のみなさまとともに、空き家対策に積極的に取り組んでまいります。

【観光文化スポーツ部】

◇抱返り渓谷紅葉祭について

10月10日から11月10日までの1か月間、抱返り渓谷紅葉祭が開催されました。今年は各地でクマの目撃情報が相次ぎましたが、インバウンドや団体旅行客が多くいたため、期間中は多言語による注意喚起看板や遊歩道にクマ除けの金属パイプを設置するなど、来訪者の安全対策を講じつつ、警戒パトロールを実施しながら予定どおり開催することができました。

◇台湾青年団との交流及び現地誘客活動について

10月27日から11月8日まで、台湾花蓮県にある天賜糧源株式会社の代表取締役である鍾雨恩氏が率いる青年団16名が仙北市に滞在し、仙北市の農業や里山活動、地方創生等について学ぶ研修が行われました。

これは青年百億海外夢実現計画という台湾の助成金を活用したプログラムであり、滞在中は市内ホテルや農家民宿に宿泊し、様々な体験活動を通して地元の方との交流を深めました。

鍾氏は「農泊はとても貴重な経験であり、今後の日台間のさらなる交流の基盤となると思う」と述べられました。

また、11月22日、23日は台北市で開催された「あきた食と観光フェア」に参加し、訪れた方へ仙北市の認知度向上のための観光宣伝を行いました。ブースでは観光スポットの掲示やPR動画による誘客活動を開催しました。

今後も市民が参画する事業を実施し、地域経済の発展、国際理解の促進につながるインバウンド誘客を行ってまいります。

◇岩橋家住宅の重要文化財(建造物)指定の答申について

10月24日に開催された国の文化審議会において、本市所在の岩橋家住宅を重要文化財(建造物)に新たに指定するよう答申がなされました。今後、官報告示を経て正式に重要文化財に指定されます。

市内の重要文化財は2件目となり、仙北市制施行後、初めての重要文化財指定となります。今後も、これまで以上に文化財の保存と活用に取り組んでまいります。

◇全国伝統的建造物群保存地区協議会について

11月11日に都内で開催された「全国伝統的建造物群保存地区協議会第2回役員会」、「伝建にぎわい推進議員連盟要望会」に出席

し、全国106自治体、129地区の代表として、令和8年度の予算充実に向けた要望と、8月に本市で発生した大雨被害の状況説明を行いました。

当日は、超党派の国会議員10名、全国伝統的建造物群保存地区協議会の首長ら13名の参加があり、文化財所有者やそれを支える自治体の昨今の資材・人件費高騰による負担増大など、現状と課題を説明しました。また、今回の災害を受け、近年多発している大雨に対する重要伝統的建造物群保存地区としての予防対策の必要性などを訴えました。

【農林商工部】

◇令和7年産の主食用水稲の作付と経営所得安定対策について

仙北市の令和7年産主食用水稲の作付面積は、およそ2,997haとなり、生産の目安として提示された2,806haと比較し191ha分の増産となりました。

増産の要因としては、コメの価格高騰により、主食用水稲への転換が拡大したものと思われます。今後も、次年産に向けた国のコメの需給調整方針やコメの価格動向等について、情報を注視してまいります。

また、主食用水稲以外の作物への取組に対して交付される経営所得安定対策交付金は、年内支払分の確認作業を概ね完了し、概算で418件、総額4億3千万円が12月下旬までに各農業者へ交付される予定です。

◇国道105号大覚野峠防災事業における市営大覚野牧場への残土盛土について

国道105号大覚野峠防災事業における残土の受入について、市としても協力する方針として、市営大覚野牧場への盛土に関する協議を

重ね、10月10日に国土交通省東北地方整備局能代河川国道事務所と協定を締結しました。

牧場への盛土に関連する工事車両の往来が増加するなど、地域の皆さんにはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

【建設部】

◇国道整備促進期成同盟会及び砂防事業促進期成同盟会について
私が期成同盟会長を務める国道46号「高規格道路」盛岡秋田道路及び大曲鷹巣道路の整備促進期成同盟会による要望活動を、11月6日に秋田県、11月18日に岩手河川国道事務所と東北地方整備局、11月19日に国土交通省、財務省、内閣官房国土強靭化推進室と地元選出国会議員へ行いました。

盛岡秋田道路は「生保内～卒田間」の早期計画策定、大曲鷹巣道路は「大覚野崎防災」の整備促進を主な要望としました。

また、こちらも私が会長を務める八幡平山系に係る直轄砂防事業促進期成同盟会では、道路事業と同日に東北地方整備局、国土交通省、財務省、内閣官房国土強靭化推進室、地元選出国会議員へ砂防事業の促進について要望してきました。

各期成同盟会の会長として、今後も強力に要望活動をしてまいりますので、議員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

【医療局】

◇市立病院に関する市民アンケートについて

今後の市立病院のあり方に関するアンケート調査では、対象となつた皆様から多くのご意見をいただき回収率は56.4%となりました。

回収率が示すとおり、地域医療への関心の高さと重要性を改めて実感いたしました。

なお、アンケート結果は、本日の市議会議員全員協議会で報告し、広報及びホームページに掲載するとともに、寄せられたご意見を経営

健全化に向けた方策に反映し、病院事業改革に活かしてまいります。

以上、主要事項及び諸般の報告を申し上げました。本定例会に提案している案件は、専決処分関係1件、条例関係10件、予算関係15件、その他2件の計28件です。

慎重審議の上、ご可決を賜りますようお願い申し上げ、市政報告とします。